

令和7年度からの市立幼稚園の体制

市立幼稚園の
今後の在り方に
関する方針
(R2.5策定)

当時の課題

札幌市の幼児数の減少

保育ニーズの変化

定員充足率の低下

教育に必要な集団規模の確保

実践研究機能を充実・強化

効率的な施設運営を検討

市立幼稚園の再編

人材を集約・育成

隣接した2区を1園でカバー

令和7年3月末
東区・厚別区・
南区・手稲区の
園を閉園

令和7年4月から市立幼稚園は5園体制となります

研究・研修事業

教育相談・支援事業

子どもが輝く幼児教育の実践のために

- 子どもたちに未来につながる資質・能力を育むための環境や経験、保育者の援助について実践研究を通して考え、**幼児教育で大切にしたいことを地域の園や学校と共有**します。
- 多様化する家庭や地域の状況及び一人一人の子どもの実態に応じた**今日的課題に応じた実践の工夫** や**関係機関との連携**など効果的な取組を**発信**します。

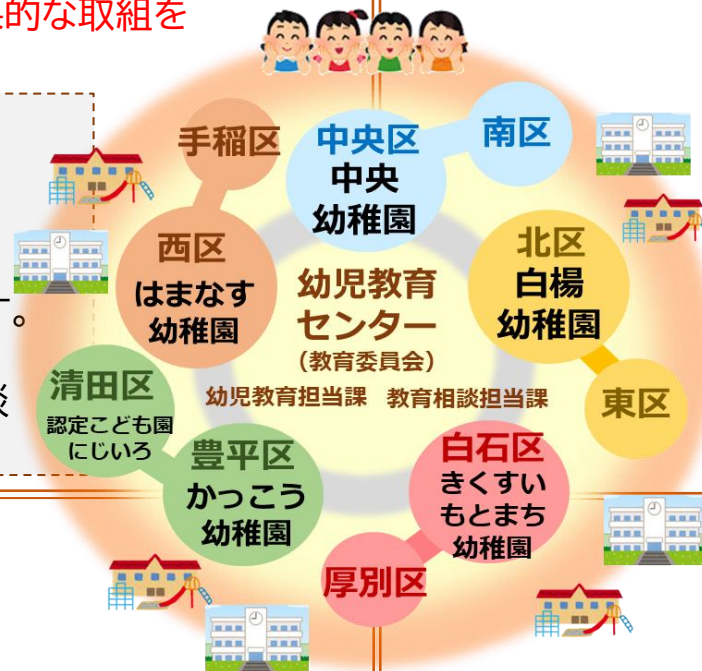
どの子ども自分らしく安心して園や家庭で過ごせるために

- これまで同様、**区を担当する幼児教育支援員を配置**し、地域教育相談や私立幼稚園等への訪問支援を行う体制を確保します。
- 引き続き**区に1か所以上の相談場所を確保**し、子どもの発達や就学、子育てに関する相談等を受けられるように整備します。

令和7年度 相談場所

中央区 中央幼稚園★	南区 真駒内公園小学校
北区 白楊幼稚園★	東区 東光小学校
白石区 きくすいもとまち幼稚園★	厚別区 ひばりが丘小学校
豊平区 かつこう幼稚園★ 教育支援センター月寒内 つきさむルーム	清田区 認定こども園にじいろ★
西区 はまなす幼稚園★	手稲区 富丘小学校

電話相談・来所相談の予約は★のついた園にて受付



▶幼児教育の考え方を共有

→核となる5園が実践研究で分かったことをペア区へ発信・共有します。

▶公開保育を活用した研修

→幼児教育施設と小学校が共に学ぶ機会をつくれます。

▶訪問研修

→核となる5園がペア区の申込や園内研修に関わる相談に対応します。

幼保小連携・推進事業

家庭教育支援事業

幼児教育と小学校教育の学びがつながるために

家庭や地域とともに子どもを育てるために

- 区幼保小連携推進協議会**は、これまで通り区ごとに開催します。核となる5園の園長がペア区のコーディネーターを兼務し、運営を行います。
- 区幼保小連携推進協議会の**代表者会**は**2区合同**で開催し、代表者間の連携・協働をより深めます。
- 区幼保小連携推進協議会において、**架け橋プログラム**について改めて周知するとともに、小学校区等を単位とする**ブロック内連携の促進・充実**を目指します。

- 未就学児の子育て広場「ポロップひろば」**は核となる5園で開催します。5か所のどこでも参加でき、園体験や様々な遊びを楽しめる環境を整えます。
- 市立幼稚園がない4区では、幼児教育支援員が子育てサロンに訪問する「**出張型子育て支援**」を行います。子育てのことや幼稚園等への入園に関する保護者の不安や悩みを受け止め、地域教育相談などの情報提供を行います。
- 在園保護者や地域の子育て家庭に、子どもの育ちを喜び、楽しみにできるようなエピソードを発信します。

再編する2区を**ペア**として、核となる5園が**幼児教育センター**と一体となり
引き続き**10区**の園・学校・地域と**つながって**幼児教育の振興を図ります

